

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度 第1回社会教育委員会議
開 催 日 時	令和5年7月20日(木) 午後 7時00分から 午後 8時30分まで
開 催 場 所	吉川市役所 3階304・305会議室
出席委員(者)氏名	土倉知子委員、峯健二委員、西澤利子委員、郭育子委員、 福田稔之委員、和田津智郎委員、強矢奈保子委員、 米田清美委員、能登克己委員、鈴木博委員、高田明充委員、 富田泰行委員、渡邊勝巳委員
欠席委員(者)氏名	小野和孝委員
担当課職員職氏名	生涯学習課 課長：岩上勉 副主幹：山崎功二 主査：山崎弘輝 主事：笹原康友 中央公民館 館長：中山浩
会議次第と会議の公開又は非公開の別	<p>《会議次第》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ 3 自己紹介 4 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 正副委員長の選出について (2) 令和4年度生涯学習(社会教育)事業実績について (3) 令和5・6年度研究テーマについて 5 その他 6 閉会 <p>《公開又は非公開の別》</p> <p>公開</p>
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)	
傍聴者の数	0名
会議資料の名称	次第 令和5年度第1回社会教育委員会議資料 令和5年度公民館要覧「さつき咲く」

会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	郭育子委員、富田泰行委員
その他の必要事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 自己紹介 会議録署名委員の指名について、郭委員、富田委員。 自己紹介終了後、教育長退席。</p> <p>4 議事</p> <p>(1) 正副委員長の選出について 委員長立候補なし。事務局案は高田委員。 副委員長立候補なし。事務局案は鈴木委員。 両者、事務局案で全出席委員承認。 以降の議事進行は高田委員長。</p> <p>(2) 令和4年度生涯学習(社会教育)事業実績について</p> <p>高田委員長 事務局 高田委員長 能登委員 事務局 峯委員 事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より説明を求める。 ・資料に基づき説明。 ・質問、意見はあるか。 ・よしかわ市民講座について、通常講座5回、受講者13人とあるが、参加者数の平均なのか、延べ人数なのか教えて欲しい。 ・全5回の講座であり、13人は原則全ての講座に出席いただくものである。 ・2点ほど質問がある。まず、一点目は2年前の会議で令和4年度の事業計画をご説明いただいたが、その時の資料と見比べると、タイトルが相違するものや事業計画にないが実施しているもの、またその逆もあるが、計画と実績に相違があっても問題ないという認識で良いか。 ・計画時点では詳細が定まっていないもの、あるいはコロナの影響もあって実施に至

	<p>らなかつた事業もある。事業実績を重点的にご確認いただければと思う。</p>
峯委員	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護担当の事業に「市史啓発活動」とあるが、事業計画には入っていないが、これは新しい事業ということで良いか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい事業ではなく、峯委員ご指摘のとおり、計画時のタイトルと相違しているものであり、申し訳ない。今後は、計画と実績を突合した資料の作成に努めていく。
峯委員	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは啓発活動は毎年行っているということによろしいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりである。
峯委員	<ul style="list-style-type: none"> ・続けて2点目の質問だが、公民館の事業実績にコラボ事業とあるが、活動団体と公民館の共同主催という理解でよろしいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりである。一例として「ブックトーク&実験教室」は、図書館との共同主催である。
峯委員	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館を利用する活動団体は多いと思うが、コラボ企画は今後も進めていくということか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館としては、その方向性で広げていきたいと考えている。
富田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館の施設利用状況について、令和3年度と比べて令和4年度は全体的に増加傾向にあるようだが、利用団体内訳のうち「青少年団体」が、中央公民館、美南地区公民館では令和4年度は0となっている。一方で、平沼地区公民館では増加傾向にあるが、すみ分けや何か方向性があるものなのか教えていただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館として、何らかのすみ分け、方針などがあってこのような結果に至ったものではない。
富田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者状況について、高齢者団体は増加傾向にあるが、青少年団体は減ってきている。多世代交流を考えていくうえでも、青少年団体の利用状況の傾向が分かればと思ったが、たまたまこのような結果になったということか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点では分析できていないが、今後、そのような機会を設けていきたいと考えている。そして、公民館運営方針に「子どもから高齢者まで、すべての地域住民が平等に利用できること」とあり、その方向性で運営していきたいと考えている。
峯委員	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年団体とはどういう団体のことを言うのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・手元に資料がないため明確なお答えができず申し訳ないが、小中学生、高校生の団体であると推察する。
西澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・以前、更生保護協議会の中に、今はなくなってしまったが青少年の団体があった。そういった団体もその定義に含まれるのだろう。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・補足として「さつき咲く」において利用団体を細かく分けている理由だが、埼玉県が公民館利用者の統計調査を毎年行っていた経緯があり、市が回答するにあたってその区分けがこのようになっていたことに起因している。過去の経験での回答となり恐縮だが、現在も大きく変化はしていないものとする。
強矢委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私の子どもが少年団に入っていた際に、公民館に登録を行い、お別れ会などのイベ

富田委員	<p>ントを行っていた。そういった団体も青少年団体に区分けされるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細かく分かれており、今後の検討に役立つ良い資料であると考え。私自身、美南地区公民館を利用している高齢者団体の一員だが、高齢者団体が元気な一方で、青少年団体が減っている状況を見ると、このままで良いのかと思っていたが、事務局より青少年も高齢者も含めての方針を伺うことができた、今後期待したい。
西澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・これは希望だが、私は昭和22年のカスリン台風の経験者である。当時、吉川市内のほとんどが海によってしまった。9月1日がお米の取り入れだったことから、そのあとの台風では水があがらず、たくさんのイナゴが発生したことを覚えている。何かお手伝いできることがあれば、私の経験が生かせると思うので、協力したいと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・感謝申し上げます。この経験を皆に伝えていくことが大事であると考えており、ぜひ伝えていきたい。
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館のコラボ事業について伺いたい。公民館と団体、どちらが主体となるものなのか。子どもの体験活動の事業は公民館事業と親和性が高く、公民館で実施した事業を同じように、あるいは一緒にできることもあると考える。今までそういった窓口がなく相談したことはないが、公民館へ私たち団体が依頼に伺うのか、あるいは公民館が主体的にコラボしたい団体を選んで声かけするのか、教えていただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・いつ、どれくらいの規模の会場を使ってということになるため、まずは公民館にご相談いただきたい。常日頃、公民館を利用されている団体とはコミュニケーションを図る機会があるが、そうでない場合は公民館窓口にご相談いただければ幸いである。会場の提供や設営、周知については公民館も往々にして対応させてもらっているが、当日の人手、企画立案については当該団体にお願ひさせていただいており、また公民館としてはコラボ事業の予算がないことをご理解いただきたい。
峯委員	<ul style="list-style-type: none"> ・コラボ企画である吉川美術会創立40周年記念展を実施した際のことだが、参考になればと思う。この絵画展は、かつては公民館と共催していたが、現在は単独で事業を行っていたことから、40周年ということで公民館に相談を行い共催の運びとなった。公民館はポスター掲示など周知の部分を担当してもらい、我々は通常今まで行ってきたことを踏襲したものである。特別、コラボとって大きく変わることはなく、実際に動くのは各団体である。相談に行けば、便宜を図ってもらえるだろう。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・峯委員よりご紹介いただいたコラボ企画は資料の13ページに掲載させていただいている。今年度は昨年度に引き続いて陶芸サークルさんにご協力いただき、異世代交流の事業を計画している。今後とも、何かコラボ企画があれば積極的にご相談いただきたい。
高田委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な利用実績の報告をいただいたが、ぜひ分析を行っていただきたい。公民館は貸館だけではなく、コラボ企画も含めてより使いやすい、市民と一体化した公民館

	<p>であるべきと考えるため、今後とも利用しやすい施設づくりに努めていただきたい。</p>
能登委員	<ul style="list-style-type: none"> 先ほどのカスリン台風の話で、西澤委員から話を聞くことで75年前の状況が分かる。それに関連して、昨年度、文化財保護担当が自然災害をテーマにして活動してきたという話があった。資料の4ページに、国土地理院への登録を3か所行ったとあるが、こういったことを学び、災害を防ぐことは大切だと思う。国土地理院に登録したことで、何か問い合わせ等はあるものなのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> これは国土地理院のウェブ上の地図に掲載するものである。掲載がないとその地域には災害がないと勘違いされかねないため、国土地理院としては積極的な掲載を呼び掛けている。基本的に防災所管部署が対応するものだが、本市においては文化財程担当が登録したことで、近隣市から問い合わせがあったところである。また、碑の内容を紹介するリーフレットも作成させていただいた。
郭委員	<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館の事業について、資料7ページに料理に関する講座がいくつかあるが、そのうち「チャレンジ!キッズ〜ギョウザ作り〜」に関して、今年度は実施を予定しているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は実施予定である。
郭委員	<ul style="list-style-type: none"> それに連動して、「世界の料理教室」「男の料理教室」は「さつき咲く」の事業計画に掲載がないが、どのように考えているか教えて欲しい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> いずれの事業に関しても実施したいと考えている。細かく事業計画に示していないが、実施の方向性で検討している。引き続き、国際友好協会さんにご協力をお願いしたいと考えている。
郭委員	<ul style="list-style-type: none"> 食を通じた交流をみな待ち望んでいる。ぜひ実施していただきたい。
	<p>(3) 令和5・6年度研究テーマについて</p>
高田委員長	<ul style="list-style-type: none"> 事務局より説明を求める。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 近年は事務局よりテーマを提案させていただいていた。今年度、来年度については社会教育委員の皆さまの話合いの中で決定できればと思っている。次回の会議では、それぞれ立場の違う委員の皆さまから社会教育についての課題や感じていること等を発表いただき、第2回、第3回会議でテーマを決定し、来年度はその内容について議論を図れればと思うがいかがか。
高田委員長	<ul style="list-style-type: none"> 意見、質問あるか。 ないようなので、では今年度の第2回、第3回で内容を決定していきたいと考える。2回目はいつ頃開催を予定しているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 例年通り10月の開催を予定している。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> では、委員それぞれが10月までに考えをまとめていただきたいと思うので協力をお願いしたい。私は新聞などで報道されているように、先生の負担について思うと

<p>委員</p>	<p>ころがあり、社会的にも話題になっていると感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改めて、次回はそのような方向性で良いか。 ・(異議なし) <p>5 その他</p> <p>埼玉葛郡市社会教育振興会、埼玉葛郡市町村社会教育委員連絡協議会を説明。 次回は10月、3回目は2月頃を見込んでいる。</p> <p>6 閉会</p> <p>鈴木副委員長挨拶</p>
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和5年8月31日</p> <p>署名委員 郭 育子 (自署) 署名委員 富田 泰行 (自署)</p>	